Docs » 下則化

## 正則化の利用方法

正則化によって,最適化中にレイヤーパラメータあるいはレイヤーの出力に制約を課すことができます.これらの正則化はネットワークが最適化する損失関数に組み込まれます.

この正則化はレイヤー毎に適用されます. 厳密なAPIはレイヤーに依存しますが, Dense , Conv1D , Conv2D , Conv3D レイヤーは統一的なAPIを持っています.

これらのレイヤーは3つの引数を取ります:

```
• kernel_regularizer: keras.regularizers.Regularizer のインスタンス
```

- bias\_regularizer: keras.regularizers.Regularizer のインスタンス
- activity\_regularizer: keras.regularizers.Regularizer のインスタンス

## 例

## 利用可能な正則化

```
keras.regularizers.l1(0.)
keras.regularizers.l2(0.)
keras.regularizers.l1_l2(l1=0.01, l2=0.01)
```

## 新しい正則化の定義

重み行列から損失関数に寄与するテンソルを返す任意の関数は,正則化として利用可能です,例:

また、オブジェクト指向的に正則化を定義できます. keras/regularizers.pyモジュールの例を見てください.